

©JAPAN QUARTER HORSE ASSOCIATION 2024

J A P A N
Q U A R T E R
H Q R S E
A S S O C I A T I O N

AQHA オフィシャルハンドブック日本語版

[2024 年版抜粋]

発刊元 : AMERICAN QUARTER HORSE ASSOCIATION
監修・発行 : 特定非営利活動法人 日本クォーターホース協会
訳者 : Ayako Ogamo
発行日 : 2024 年 4 月

AMERICAN
Q U A R T E R
H Q R S E
A F F I L I A T E

これは AQHA に許可を得て作成した和訳冊子です。

AQHA 理念

- アメリカンクォーターホースの血統の記録・保存と共に、その馬種の品位と繁栄の維持に努める
- アメリカンクォーターホースの所有・関与を促進・奨励する為の有益なサービスをメンバーに提供する
- AQHA を馬業界の主幹組織として位置づけるため、多様な教育プログラム、教材、カリキュラムを開発する。
- アメリカンクォーターホースのマーケティング、振興、広告、宣伝を通し、AQHA メンバーの増加を促す。
- アメリカンクォーターホースが常に人道的に、尊厳、敬意、思いやりを持って扱われるよう努める。

組織方針

「アメリカンクォーターホースの幸福」

AQHA は世界最大の登録数を誇る品種および馬術レクリエーション組織であり、アメリカンクォーターホースの登録は世界中に 500 万頭を超え、265,000 以上の AQHA メンバー数を有する。

テキサス州アマリロの AQHA 国際本部は、すべてのアメリカンクォーターホースの血統書、登記簿を発行・記録し、レース、ショー、レクリエーション活動、支援活動など、アメリカ最古の独自の馬の品種の振興のためのプログラムや奨励制度を設ける。

AQHA はアメリカンクォーターホースの所有・関与を促進・奨励するための有益なサービスをメンバーに提供し、マーケティング、振興、広告、宣伝を通し、AQHA メンバーの増加を促す努力を怠らない。

また、AQHA は以下の地位表明が証明する通り、アメリカンクォーターホースの福祉と尊厳の保護に注力する。

AQHA 指標

アメリカンクォーターホース協会 (AQHA) は、アメリカンクォーターホース種の血統の記録・保存および種の純血性の保持を使命とする。

また AQHA はアメリカンクォーターホースの所有、関与の振興に努める。

AQHA はすべての AQHA 公式イベントに対し、馬の持つ自然な能力が反映されるよう考慮された規則を厳密に制定することで、アメリカンクォーターホースを積極的に守る努力をする。

そのために AQHA は、以下の信念を表明する：

- すべてのアメリカンクォーターホース、その他のすべての馬、動物を、常に人道的に尊厳、敬意、思いやりを持って扱う。
 - AQHA は、厳格な規則を制定・施行し、アメリカンクォーターホースのブリーダー、馬主、トレーナー、(ショー等の) 出場者の監督下にあるアメリカンクォーターホースの健康と人道的扱いに関する、継続的責任を求める。
- 規則には、投薬方針、トレーニングの禁止事項、手術の禁止事項、化学物質投与の禁止事項、または使用禁止器具の遵守、その他、馬のパフォーマンスに影響したり、馬を不自然に改造するような、すべての行為が該当する。
- アメリカンクォーターホースの保護は他の何よりも最優先事項であり、AQHA イベントに関与するすべての馬と動物が確実に人道的に扱われるための手順の継続的開発および公正な競技は、何より最優先されるものである。

GEN104. ゼネラル規定： AQHA メンバーシップは権利ではなく特権であり、AQHA 規定の手順で申請が必要である。

従って、実行委員会または理事会が AQHA のプログラム、ポリシー、指標や他メンバーとの関係調和に有害であると判断した場合、メンバーシップおよびその申請は、実行委員・理事会が剥奪・却下する。AQHA 規則に明記されていない限り、本規則に基づく現メンバーシップの剥奪は、AQHA の定める通知、聴聞、一時停止の懲戒手順に従い行われる。

申請却下は、申請者に審問の権利またはその根拠を与えないものとする。

剥奪・却下の目的は、AQHA 懲戒手順に定められた AQHA メンバー特権の否認である。

GEN115. アメリカンクォーターホース・ユース協会メンバーシップは、18歳以下の青少年に AQHYA メンバー特権を許可するのに加え、AQHA オープンディビジョン他、AQHA の個人メンバーシップを要する活動に参加するなど、AQHA 個人メンバーに認められる全特権を付与するが、AQHA メンバーシップ会議での投票権・役職に就く・AQHA ディレクタの地位に就く権利は除外する。

GEN116. アマチュア AQHA メンバーシップは、AQHA アマチュア部門規則に則り、条件を満たす個人に付与され、AQHA オープンディビジョンその他個人メンバーシップを要する AQHA の活動に参加する特権を含め、AQHA 個人メンバーの全特権も付与される。公的教育機関、執行機関、運営者、管財人、共同事業者はアマチュアメンバーから除外する。

GEN117. ライフメンバーシップは、申請後適宜会費を支払うことで、下記の通り利用可能とする。

個人

合同

仮名または商号

協賛企業、一般または有限会社

シンジケートまたは合併企業

遺産、信託、後見人またはその他法的管理組織

アメリカンクォーターホース・ユース協会メンバー(満 18 歳まで)

GEN122. 国際協会。 AQHA はアメリカンクォーターホースを振興する国際協会の認可を行う。本認可は、既得権ではなく、執行委員会の承認を受けた AQHA 策定の審査要綱に則り、AQHA の決定権をもって年次に承認／否認を審査し付与する特権である。AQHA の認可を受けた場合、国際協会は、毎年 AQHA 国際提携協定書に合意・署名し、必須のメンバーシップおよび登録番号を保持することとする。本認可により、当該の国際協会は AQHA 定款・規約・規則に則り、AQHA 理事会に任命理事を置く特権を認められる。認可国際協会のメンバーは、AQHA 定款・規約・規則の統制下にあるものとする。

GEN122.1 AQHA 認可の国際協会は以下の通りである。

アルゼンチン	アルゼンチンクォーターホースブリーダーズ
オーストラリア	オーストラリアクォーターホース協会
オーストリー	オーストリークォーターホース協会
ベルギー	ベルギークォーターホース協会
ブラジル	ブラジルクォーターホース協会
カナダ	カナダクォーターホース協会
中国	中国クォーターホース協会
コロンビア	コロンビアクォーターホース協会
コスタリカ	コスタリカフィールド&スポーツホースブリーダー協会
チェコ共和国	チェコクォーターホース協会
デンマーク	デンマーククォーターホース協会

ドミニカ共和国	ドミニカ共和国クォーターホース協会
フィンランド	フィンランドクォーター共和国ホース協会
フランス	フランスクォーターホース協会
ドイツ	ドイツクォーターホース協会
ハンガリー	ハンガリークォーターホース協会
アイルランド	アイルランドクォーターホース協会
イスラエル	イスラエルクォーターホース協会
イタリア	イタリアクォーターホース協会
日本	日本クォーターホース協会
ルクセンブルク	ルクセンブルククォーターホース協会
メキシコ	メキシコクォーターホースブリーダー&ライダー協会
オランダ	オランダクォーターホース協会
ニュージーランド	アメリカンクォーターホース協会-ニュージーランド
ノルウェー	ノルウェークォーターホース協会
パナマ	パナマクォーターホース協会
パラグアイ	パラグアイクォーターホース協会
ポーランド	ポーランドクォーターホース協会
スロバキア	スロバキアウエスタンライディング & ロデオ協会
スロベニア	スロベニアクォーターホース協会
南アフリカ	南アフリカクォーターホース協会
スペイン	アメリカンクォーターホーススペイン
スウェーデン	スウェーデンクォーターホース協会
スイス	スイスクォーターホース協会
イギリス	AQHA-UK
ウルグアイ	クォーターホースブリーダー協会

VIO200. 非人道的扱い。 馬を決して非人道的に扱ってはならない。非人道的扱いに対する本禁止事項は、AQHA 会員、非会員共に適用される。非人道的とみなされる禁止行為は、下記の例の限りではない。本禁止事項は、AQHA が容認する事の出来ない、馬への普段からの扱いを現すものであるため、競技会に出場するアメリカンクォーターホース以外の馬その他の動物に対しても適用される。

VIO200.1 本規則の目的とし、馬の管理責任者は、トレーナー、エージェント、代表者、従業員に対する非人道的扱いに対しても、その責を問われ、懲戒処分を受ける。

VIO201. 馬その他、ショーに出場する全動物への非人道的扱いも厳禁とする。一般的に認められた馬術トレーニングの学識者または技術者が、非人道的だと判断する行為は、馬への非人道的行為と見なされる。

VIO202. 本規則の目的のため、違反の重度に基づく罰金とペナルティの制度を確立した。下記 VIO204 の全違反行為には、最小レベルの違反が課される。(レベル 1=軽度、レベル 2=中度、レベル 3=重度)。事実関係により、違反レベルはより重くなる場合がある。

VIO204. 以下の様な例は、非人道的扱いに該当する。

VIO204.1 馬の口に過度の不快感や苦痛を与える器具を入れる(最小レベル 2)、

VIO204.2 馬の口に、長時間ビットを装着したままにし、過度の不快感や苦痛を与える(最小レベル 1)、

VIO204.3 馬房または AQHA イベント会場において、馬の頭部を(鬚甲より上に)上げる、後ろに引く、または体軀を屈曲させて繋留する*1。(最小レベル 2)

- VIO204.3.1** 馬に飼いや水を与えず、馬房内で長時間繋留する。(最小レベル 1)
- VIO204.4.** 馬に過度の不快感や苦痛を与えるような調馬索運動や騎乗をする(最小レベル 1)
- VIO204.5** 馴致の手段として、馬体、無口、ブライドル、および・またはサドルに、異物を結ぶ・取付ける。
(最小レベル 2)
- VIO204.6** 訓練の手段・手法として、ポーリング*2等を用いるまたは馬の四肢を物で叩く(最小レベル 2)
- VIO204.7** 過度な拍車、鞭の使用(最小レベル 1)
- VIO204.7.1** 馬の頭を叩く(最小レベル 2)
- VIO204.8** 過度に手綱を引く(最小レベル 1)
- VIO204.9** 過度なフェンシング*3(最小レベル 1)
- VIO204.10** 過度なスピン。(一方向に対し、8回以上の連続した回転。)(最小レベル 1)
- VIO204.11** スロープのあるオクサーを逆方向から飛越させる。(例:低い→高いではなく、高い→低い)
(最小レベル 1)
- VIO204.12** 4フィート(約 121 cm)以上の横木を使用した(飛越)練習。(最小レベル 1)
- VIO204.13** 使用禁止馬具。保護カバーのないリップチェーン(SHW355.1.1 参照)、鋸歯(saw tooth)ビット、ホックホブル、鋏付きカラー、鋏付きカーブストラップまたは鋏付きハックモア、ショーマンシップで使用
する鞭、ウォーブライドルまたは同様の器具、緩衝材の有無に関わらずワイヤ状または金属板のカーブス
トラップは不可、ワイヤ製カブソン、ワイヤまたは紐状のタイダウン、バンパービット、金属製ポーサル(緩
衝材の有無に関わらず)、金属製ロンジングハックモア、シャンボン、金属製のブライドル類(緩衝材やカ
バー類の有無に関わらず)、捻ったローハイドまたはロープも馬の頭部に使用しない事(3/8 インチ径ロー
プをスリップビット/ギャグビットまたはボンネットと使用するのは可)、ランニング・マーチンゲールをカーブ
ビットに使用する、手綱止めなしで使用する、返し手綱を前肢の間または周囲に取り付けて使用すること
は不可、サイドレイン(ビットとシンチまたはサーシングルを直接サイドレインで繋ぐ)、ビットに 3 インチ以
上の折り返し手綱のエクステンションを取り付ける、その他。(最小レベル 1)
- VIO204.14** 馬の尻尾の血行を妨げる器具または製品の使用(最小レベル 3)、重り付き尻尾エクステ以
外の、尻尾の動きを妨げる器具または製品(最小レベル 1)、馬の尻尾の通常機能を変えるような、ドラッ
グ、化学製品、異物、外科処置またはトラウマ(最小レベル 2)。
- VIO204.15** 禁止馬具/禁止されている訓練手法/意図的の行為/管理過失等により起きた怪我を隠す
為に、カラー剤、染料、接着剤、付け毛等を含めたあらゆる種類の物を使用する事。本項における「怪我」
とは、開いた傷口、生傷および・またはかさぶたの部位を指す(最小レベル 2)。
- VIO204.16** 馬が不機嫌、ぼんやりしている、無気力、やせ衰えている、やつれている、または過度に疲
れた様子をしている(最小レベル 1)。
- VIO204.17** 過失または故意により、馬に出血、開いた傷口および・または生傷を負わせる - 故意(最
小レベル 3)、過失(最小レベル 1) 本項における「故意」とは、賢明な者であれば当然、行使するであろう
配慮を怠る事である。また、出血、開いた傷口および・または生傷が、過失か故意の何れによるものであ
っても、馬は失格とする。
- VIO204.18** 過度の無理強い、または、ホルターのリードチェーン/リップコード/認可されたセーフティ
リードを過度に引っ張る(最小レベル 2)。
- VIO204.19** その他、審査員が非人道的または虐待とみなした馬の取扱い、または行為(最小レベル
1)。
- VIO204.20** 治療目的を除き、馬の耳に如何なる物質を注入する事も禁止する。また治療については投
薬報告書に正確に記入し記録しなければならない(最小レベル 2)。

血統登録規則

REG100. スタッドブック。 アメリカンクォーターホース協会公式スタッドブックには血統に基づき登録証明書を発行された馬が登録されている。証明書は父馬と母馬の登録状況に応じ、番号登録簿またはその付録のいずれかに保管されている。1962年以前にAQHAに登録された仔馬は、番号・永久版・暫定版・旧付録・新付録のいずれかに分類されていたが、現存するのは番号登録と付録のみである。2024年1月1日以降に生まれた仔馬については、AQHAに登録されるアメリカンクォーターホースの正式な身分証明書となる登録証明書はデジタル形式で発行される。2024年1月1日以前に生まれた仔馬については、文書の形式を継続する。登録されたアメリカンクォーターホースは、登録書に記載の通り、公式ハンドブック規則・規制の対象となる。

REG102. 登録手順。 馬の登録をする場合。

REG102.1 出生時の母馬(胚移植馬の場合は繁殖時の母馬)の登録馬主または登録借主は、正しく記入・署名した登録申請書および署名した繁殖者証明書を提出する責任を負う。仔馬を登録する際、凍結受精卵許可証を使用して仔馬を登録する場合、許可証の所持者が仔馬出生時の馬主として登録申請書に署名する事とする。

REG102.1.1 胚移植で生まれる仔馬は、登録馬主または登録借主が交配時に、記入漏れのない登録申請書および適宜記入と署名のされたブリーダー登録書と共に責任を持って提出する事。仔馬が登録条件を満たす事を証明する為のルールについてはREG112を参照の事。

REG102.1.2 凍結受精卵許可証を使用して仔馬を登録する場合、許可証の所持者が出生時の馬主として登録申請書を記入する事。

REG102.1.3 凍結受精卵で生産された仔馬の場合で交配時に許可証を所持していなかった場合についてはREG112.5を参照の事。

REG102.2 仔馬が登録対象となるには、上記REG102.1に記載の通り登録申請書は其々、出生時の母馬(胚移植馬の場合は繁殖時の母馬)の馬主、母馬の借主(AQHAに貸借契約書の登録がある場合)または、馬主・借主の委任代理者(AQHAに代理承認の旨登録されている場合)が記入・署名する事。凍結受精卵許可証を使用して仔馬を登録する場合、許可証の所持者が仔馬出生時の馬主として登録申請書に署名する事とする。

REG108. 遺伝子検査。 AQHAは組織方針および指標に則り、会員の教育、血統の完全性およびその福祉の保護に努める。こうした取り組みの一環として、AQHAは基準適用行程を通じ、遺伝性疾患やその他の望ましくない形質に関する規則・規定の研究、特定および公布も担っている。その点に関し研究者は、アメリカンクォーターホースは他の馬種よりも遺伝的障害が多いわけではないと言及した上で、AQHAはアメリカンクォーターホースと関連する馬種の障害の要因となる遺伝的変異の特定を積極的に支援していると述べた。アメリカンクォーターホースの馬主がより健康な馬を生産・管理するための支援ツールとして用意した遺伝子健康パネルの有効性は科学的に立証されており、こうした検査に利用されている。

REG109. 遺伝的欠陥および望ましくない形質。 以下に挙げるのは理事会が一般に望ましくない形質または遺伝的欠陥とみなす状態であり、指定日時以降に生まれた馬については、判明次第、登録証明

書に記載する事。馬主は、こうした形質を発見次第、直ちに AQHA に報告し、以下に規定する通り登録証明書に状態を記載する事。適宜報告しない場合、馬主は懲戒処分を受ける場合がある。

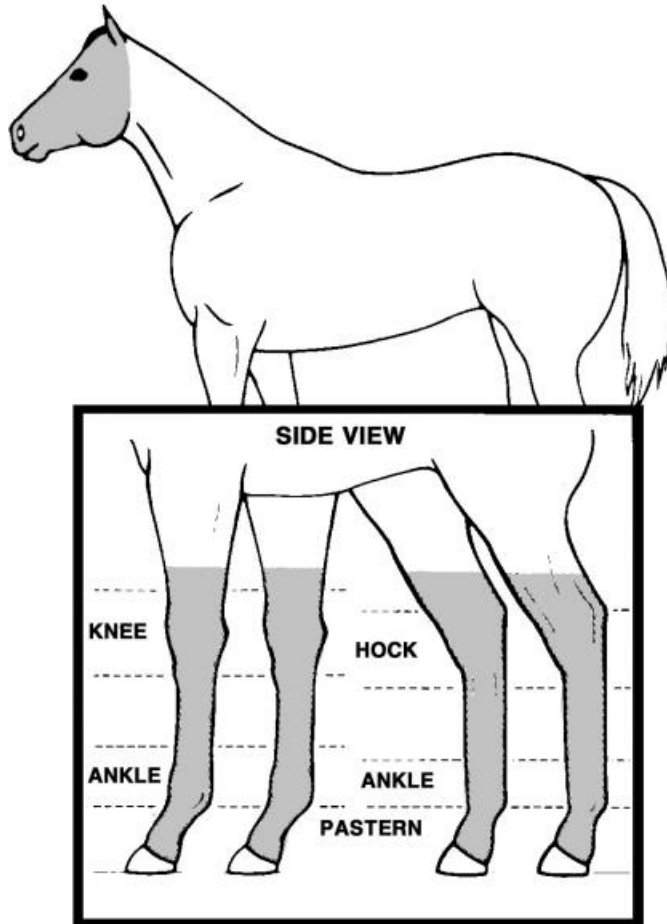
REG109.1 オウム口 - カケス(上顎前突)またはカマス(下顎前突)のいずれか、アメリカ馬臨床獣医師協会の定義する「上下の中切歯の不正咬合」の状態を指す。この症状の原因となる遺伝的変異は、現在の所不明である。指定は 1992 年 1 月 1 日以降に出生した馬に適用される。

REG109.2 停留睪丸 - 陰囊に降りているのが目視出来る睪丸が2つ未満である事を意味する。この症状の原因となる遺伝的変異は、現在の所不明である。指定は 1992 年 1 月 1 日以降に出生した馬に適用される。

REG109.3 高カリウム性周期性四肢麻痺(英:HYPP) - 指定は 1998 年 1 月 1 日以降に出生した馬に適用される。HYPP は遺伝性の常染色体優性遺伝疾患である。制御不能な筋肉の痙攣や深刻な筋力低下を引き起こす可能性のある遺伝性の筋肉疾患で、重度の場合、失神や死に至る場合がある。研究によると、この症状は種牡馬 Impressive(AQHA 登録番号 0767246)の特定の子孫に見られる。この症状の原因となる遺伝的変異は確認されており、遺伝子健康パネルに載っている。

REG109.4 白斑 - 次に規定する境界線のいずれかを超える白いマーキングがあり、その下に明色の皮膚を持つ馬は、産駒、父馬、母馬の DNA 型鑑定により血統が確認された場合のみ、AQHA の登録対象となる。アメリカンクォーターホースは長い間単色の馬として認識・識別・宣伝されてきたが、生産者は、時に白い模様を持つ仔馬が生まれる事がある事を認識する必要がある。こうしたマーキングはこの馬種の特徴とは言えず、望ましくない形質とされる。マーキングの制限を超える馬に関しては登録証明書に次の通り通知の事:「この馬には、AQHA 規則で望ましくない形質とされ、この馬種らしくないと指定される白いマーキングがある。」

REG109.4.1 前肢の肘の先端(肘頭結節の中心または尺骨近位骨端)と膝裏の突起(付属手根骨または外側茎状突起)との中間点の外周にある地面と平行なライン。



この図が示す部分の白いマーキングは、REG109.4 で指定される望ましくない、または馬種の特徴ではないとされるものに入らない。馬の個体差により、この図の寸法とは必ずしも一致しない為、其々の登録案件には規定内の記述が優先適用される。本ガイドラインに沿わないマーキングがある馬は、登録前に血統の照合が必要となる。

REG110. ブリーディングレポート

REG110.1 すべてのアメリカンクォーターホース種牡馬の馬主は、前年 11 月 30 日以降に当該種牡馬と接触のあったすべてのアメリカンクォーターホース牝馬およびサラブレッド牝馬につき、書面にて報告する事。すべてのサラブレッド登録種牡馬の馬主は、前年 11 月 30 日以降のアメリカンクォーターホース牝馬との接触について、書面で報告する事。ブリーディングレポートは、交配の年の 11 月 30 日以前に AQHA に到着の事。赤道以南に位置する種牡馬の報告書は、交配の年の 6 月 30 日以前に AQHA に到着の事。AQHA に繁殖期のリース登録のある種牡馬については、借り手がその書面報告を行う事。

REG114. 毛色。 アメリカンクォーターホースの毛色の種類

REG114.1 ベイ(鹿毛): 被毛は黄褐色、明るい赤褐色から暗い赤褐色まであり、長毛(たてがみと尻尾)は黒色、通常は四肢下部も黒色。

REG114.2 ブラック(青毛): 被毛は漆黒で明るい部分がない。長毛は黒色。

REG114.3 ブラウン(黒鹿毛): 被毛は黒色または褐色で鼻先、目の周囲、腹、四肢上部内側に明る

みがある。長毛は黒色。

REG114.4 ソレル(栗毛):被毛は赤褐色または赤銅色。長毛は通常被毛と同じだが、亜麻色もある。

REG114.5 チェスナット(栗毛):被毛は濃い赤褐色または茶褐色(栗色)。長毛は通常濃い赤褐色または茶褐色だが、亜麻色もある。

REG114.6 ダン(河原毛):被毛は淡い黄褐色または山吹色、長毛は黒または茶、鰻線があり、通常四肢にゼブラ柄、髻(き)甲(こう)に横縞柄が見られる。

REG114.7 レッドダン(赤河原毛):被毛は淡い黄褐色または薄橙色、長毛は赤褐色または赤みを帯びている、亜麻色、白、または混色、赤褐色か赤みを帯びた鰻線があり、通常四肢に赤褐色か赤みを帯びたゼブラ柄、髻(き)甲(こう)に横縞柄が見られる。

REG114.8 グルロ(薄墨毛):被毛は、煙ったような灰色またはねずみ色(黒毛と白毛の混生ではなく、一本一本の毛がねずみ色)、長毛は黒色、通常黒色の鰻線が見られ、下肢部も黒い。

REG114.9 バックスキン(河原毛):被毛は、淡い黄褐色または山吹色、長毛は黒色、下肢部も黒いが、バックスキンには通常鰻線がない。

REG114.10 パロミノ(月毛):被毛は、淡い黄白色、長毛は白色、パロミノには通常鰻線がない。

REG114.11 グレイ(葦毛):被毛は白毛とその他の毛色の混生。出生時は単色またはそれに近く、年齢と共に白毛が増えて毛色が明るくなる事が多い。

REG114.12 レッドローン(赤粕毛):程度の差はあれ、被毛の大部分が白毛と赤褐色の均一な混合だが、通常頭部と下肢は色味が暗く、たてがみ(および・または)尾は赤褐色または亜麻色の場合がある。

REG114.13 ブルーローン(青粕毛):程度の差はあれ、被毛の大部分が白毛と黒色の均一な混合だが、通常頭部と下肢は色味が暗い。

REG114.14 ベイローン(鹿粕毛):程度の差はあれ、被毛の大部分が白毛と赤褐色の均一な混合だが、通常頭部と下肢は色味が暗く、たてがみ(および・または)尾は赤褐色または亜麻色の場合がある。

REG114.15 クリメロ(佐目毛):馬体の皮膚の色が明るい(またはピンク)で、被毛は白色またはクリーム色で目は青色。

REG114.16 パリーノ(佐目毛):馬体の皮膚の色が明るい(またはピンク)で、被毛は白色またはクリーム色で目は青色。長毛と下肢が、馬体の色よりもわずかに濃い。

REG114.17 ホワイト(白毛):被毛は白色、皮膚はピンク色、目は通常濃い色で、皮膚に小さな黒い斑点が見られるが、通常は有色毛を伴わない。斑入り(有色毛の斑点があるという意味で通常は白との混合色)の白馬もいる。

REG124. 所有権の譲渡。登録馬の所有権譲渡については、すべて AQHA に登録する事。

REG124.1 REG124.4 に規定される責任者は、迅速なサービス、証明書や譲渡報告書の紛失リスク減少、譲渡登録を不可能にするような複雑な事態を招く可能性の減少のため、購入後直ちに、すべての譲渡書類を AQHA に提出する事。

REG124.2 譲渡登録は、責任者側が AQHA に下記書類を提出し行う。

REG124.2.1 当該馬の登録証、

REG124.2.2 登録上の現馬主により正確に記入・署名された AQHA 譲渡登録および新馬主からの同書類、

REG124.2.3 規定の登録費用および譲渡費用区分に適用される買主のメンバーステータス。

REG124.3 AQHA は、馬の現登録証に名前が記載された馬主であれば、共同馬主いづれか 1 人の署名を承認するが、手続きを行う馬主(または代理人)が、当人のみに名義変更をする場合は、他の共同馬主・代理人の署名が必要となる。また、パートナー登録馬主の場合も、AQHA はいづれの当該パートナー

の署名も有効とする。もし上記の承認行程を許可しない、または制限を設ける場合、共同馬主やパートナーは、その旨記載の合意書に、馬の名前、登録番号、共同オーナーまたはパートナー全員の署名と共に AQHA に提出する事。

REG124.4 売主の義務。譲渡時の登録馬主は、AQHA 譲渡登録をすべて記入し提出する義務がある。

REG125 リース契約

REG125.1 馬のリース契約の承認については、AQHA に、登録馬主である賃貸人および貸借人、両人が署名した当該リース契約通知を書面にて提出する事。通知書には、リース発効日を明記し、期間は3年までとする。3年のリース期間満了時、延長の場合は再登録が必要である。リース期間が短期の場合は、終了日も記載の事。リース期間満了以外で、リースを終了させる場合、終了日を明記し賃貸人・貸借人両名の署名と共に書面にて通知を提出するか、賃貸人から貸借人への馬主の変更を証明する書類に、登録馬主／貸借人が署名し提出する事。リース終了に際しては、自動的または事後通知、いずれの場合も費用はかからない。

REG125.2 貸借人に対する馬の使用制限は賃貸人が実施する。

REG125.3 公認クレイミング競走により馬主の権利譲渡が認められた場合、リースは終了となる。

REG125.4 リース期間中、AQHA はリース完了まで次の所有権変更を認めない。貸借人または承認を受けた代理人のみが、リースされている馬に関するブリーダー証明書、種牡馬の種付け報告書または登録申請書に署名する権限を有する。

SHW100. AQHA ショー開催の承認は、ショーの管理能力、AQHA 規則の励行、ショーの品質、AQHA メンバーへのサービスその他を鑑み、申請者の継続的評価に則り、年次に AQHA の決定権により、付与／拒否される特権であり、権利ではない。

SHW205. 動物福祉。すべてのアメリカンクォーターホースは、常に、人道的かつ尊厳と尊敬、思いやりを持って扱われること。非人道的扱いに対する本禁止条項は、AQHA 会員以外にも適用される。

SHW205.1 AQHA 会員は、トレーナーやエージェント、代理人および／または従業員の行動に対しても責任を問われる場合がある。また本項に違反した個人は、懲戒、出場停止処分、罰金、AQHA 特権の失効、失格、ショー会場からの追放、および／または AQHA からの追放処分を受ける場合がある。

SHW205.2 違反行為や行動を判断する基準は、一般的に適当であるとされる馬の世話、訓練および大会の行程、または獣医基準について知識と経験のある合理的な人間が、残酷、虐待、または非人道的であると判断するかどうかである。

SHW205.3 動物福祉の包括的ルールに関しては、本ルールブック内違反の項を参照のこと。

SHW300. 馬装。

SHW305. ウェスタン馬具。

SHW305.1 ハックモア^{*4}(hackamore)とは、柔軟な編込のローハイド^{*5}(rawhide)、本革、またはロープ製ボーサル^{*6}(bosal)を使用したものを指し、その芯は柔軟であること。ハックモアはタイ・レイン(tie-rein)を含むメカテ・レイン(mecate rein)とセットで使用すること。パッドやカバー類の有無に関わらず、顎下への固い素材の使用は厳禁とする。馬毛製ボーサルの使用は禁止とする。本項はメカニカル・ハックモア^{*8}(mechanical hackamore)に言及するものではない。

SHW305.2 ウェスタンパフォーマンスクラスにおけるスナッフビットとは、標準的な O リング、エッグバ

ット、または D リングを指し、リングは直径 4 インチ(100 mm)以下とする。リングの内周には、梃の力が加わる手綱やカーブ(ビット)、ブライドルのアタッチメント類が付いていないこと。マウスピースは、丸形、楕円形または卵形で、(ワイヤ等が)巻き付けられていない滑らかな金属製である事。インレー(象嵌)は可とするが、滑らかであるカラテックスで覆われている事。マウスピースの直径は、頬から 1 インチ(25 mm)内側で測った際、5/16 インチ(8 mm)以上で、スナッフルの中心に向かってなだらかに細くなっている事。マウスピースは、2~3 片で形成される事。3 片の場合、接続部のリングが直径 1 1/4 インチ(32 mm)以下または、接続部が平らな棒状で上から下までの測位が、3/8 インチから 3/4 インチ(10 mmから 20 mm)以内で長さが 2 インチ(50 mm)以下、馬の口腔内で平らに装着される物を可とする。任意でスナッフルビットの手綱下側に装着する本革製ストラップは可とする。

SHW305.3 ウェスタンパフォーマンスクラスにおけるビットとは、ソリッドタイプまたはジョイント付きマウスピースのカーブビットであり、梃として作用するシャンクがある。カーブビットはすべて、機械装置のない標準的なウェスタンビットとされるものである事。

SHW305.4 合法で標準的とされるウェスタンビットの種類は以下を含む。

SHW305.4.1 前ページの図表の通りに計測されたシャンクの長さが、8 1/2 インチ(215 mm)以下であること。シャンクは固定式、可動式、いずれも可。

SHW305.4.2 マウスピースは丸形、楕円形または卵形で、(ワイヤ等が)巻き付けられていない滑らかな金属製で、頬から 1 インチ(25 mm)の所で測った時に、直径が 5/16 インチから 3/4 インチ(8 mmから 20 mm)以内である事。しかし、伝統的なスペードビット^{*9}に付いたスウェイバー^{*}のワイヤ(マウスピースの上部のスペード部に付いている)は可とする。インレーは可とするが、滑らかであるカラテックスで覆われている事。ソリッドタイプのマウスピースに付いた上向きの突起物を含め、マウスピースの下部に延長物や突起物等が、何も突き出していない事。マウスピースは、2~3 片で形成される事。3 片の場合、接続部のリングが直径 1 1/4 インチ(32 mm)以下または、接続部が平らな棒状で上から下までの測位が、3/8 インチから 3/4 インチ(10 mmから 20 mm)以内で長さが 2 インチ(50 mm)以下、馬の口腔内で平らに装着される物を可とする。

SHW305.4.3 スムーズで直径が 3/8”(10mm)以上のジョイント付きマウスピース、ジョイントは可動式でシャンクと固定されている。

SHW305.4.4 ドーナツおよびフラットポロ・マウスピース^{*12}は不可。

SHW305.4.5 カーブビットは、馬の顎に接触するよう正しく装着されたカーブストラップまたはカーブチェーンと共に使用する事。

SHW305.4.6 スリップまたはギャグビット^{*13}は、スピードイベントでは可とする。

SHW305.5 ハックモア/スナッフルビットクラスまたは、ハックモア/スナッフルビットを付けたジュニアホースの競技を除き、手綱を持つのは片手のみとし持ち手の変更は不可。拳は手綱の周りを握る事(スプリット手綱のみ、間に人差し指可とする)。トレイルで障害物を越える為に持ち手を変える事は可とする。本規則の違反は、自動的に失格とする。

SHW305.5.1 どの馬も年齢に関わらず、ルーキー/ユースレベル 1、ルーキー/アマチュアレベル 1 またはレベル 1 クラスでは、スナッフルビット/ハックモアを使用し、片手または両手を使用可とする。

SHW305.6 ローマル^{*14}とは、環状の手綱の先に編み込みまたは丸形の延長物を付けた物を指す。この延長物は、手綱を持っていない拳(以降フリーハンド)に持ち、手綱を持つ拳と、ローマルを持つフリーハンド側の拳間を 16 インチ(40 cm)開ける。ローマル手綱使用時、騎乗者の拳は手綱の周りを握り、手首を真っすぐにリラックスした状態で、親指を上部に置き、残りの指は軽く手綱を握る。ローマル使用時に、手綱の間に指を置くのは不可。どのレイニングクラスでも、フリーハンドで手綱の長さを調節してはならない。レイニングにおいては、ブライドルから手綱を持つ拳までの長さや張りを調節する為にローマルを握っている側のフリーハンドを使う事は、両方の拳を使用する事を意味し、パターンの中で、馬が完全に停止

の状態にある場合を除き、0点となる。その他すべてのクラスでは、ワーキングカウホースのレイニング部分、ボクシング、VRH*¹⁵ ランチレイニング、VRH ランチカウワーク、VRH リミテッドランチカウワーク、全RHC ワーキングランチホースクラスを含め、騎乗者の手綱の長さを調節する為にフリーハンドを使用してもよい。全ウエスタンクラスで、騎乗者が手綱を直したり解いたりするのに使用するフリーハンドが手綱を持つ拳より後ろにある限り、クラス中いつでも余った手綱を直したり解いたりしてよい。ブライドルから手綱を持つ拳の間の手綱の長さや張りを調節しようとした場合は、両方の拳を使用したとみなされ、0点の違反または失格とされる。

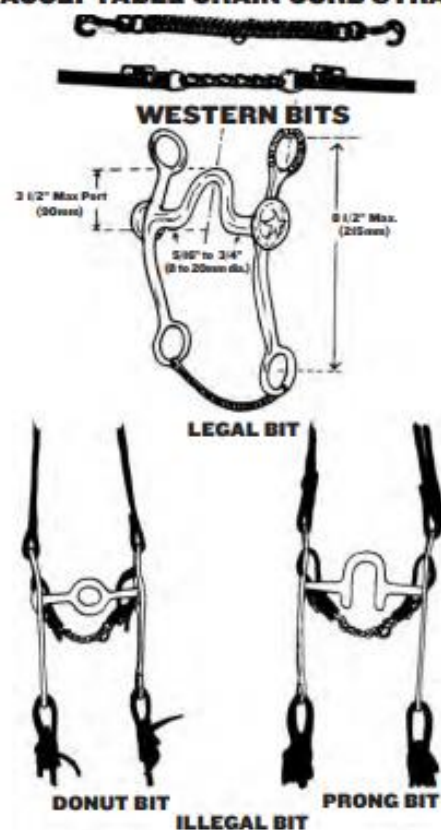
SHW305.6.1 ローマルは腹帯より前部で使用したり、馬への合図や扶助としても決して使用してはならない。本規則の違反は、ジャッジにより厳しく罰される。

SHW305.7 ウエスタンプレジャー、ウエスタンホースマンシップ、レイニング、ワーキングカウホース、ボクシング、ランチライディング、ウエスタンライディング、トレイル、その他 VRH クラスに出場するジュニアホースで、ハックモアまたはスナッフルビットを付けて出場する場合は、片手、両手の使用を問わない。スプリットレインを両手で持って騎乗する場合、ワーキングカウホース、ボクシング、レイニング、VRH クラスを除き、手綱の末端は首の反対側で交差させる事。メカテの使用が許可されている VRH クラス、ランチング・ヘリテージ・チャレンジ、ボクシング、ランチライディング、ワーキングカウホースを除き、環状の手綱(例:メカテ)をスナッフルビットと合わせて使用する事は不可とする。ワーキングカウホース、ボクシング、ランチライディング、ランチトレイル、VRH 全クラス、RHC 全クラスにおいてスナッフルビットを使用する場合、本革またはその他編み込み素材の顎革(幅は問わない)をビットの手綱より下側に取り付け使用する事。鉄製、チェーン、その他の素材の使用は禁止とする。顎革に付いている金属製バックルおよび・または留め金は可とする。

SHW305.8 全ウエスタンクラスにおいて、馬は競技中ウエスタンサドル、適切なブライドル、スナッフルビットまたはハックモアを装着している事。ウエスタンサドルとは、大きく目立つフォークと、そこに付いたある種のホーン、高いキャンタルと大きなスカートで識別される一般的なサドルである。シルバーの備品が作業に適した服装より評価される事はない。5歳以下の馬は、スナッフルビット、ハックモア、カーブ、ハーフブリードまたはスピードビットを付けて競技に参加出来る。6歳以上の馬は、カーブ、ハーフブリードまたはスピードビットのみ競技で使用可とする。スプリット手綱またはローマル手綱は、使用がオプションとされているスピード競技、チームペニング、ランチソーティング、ローピング、カウボーイマウンテッドシューティングを除き、カーブと併せて使用する事。カーブを使用する際は、ジャッジの承認を受けた幅 0.5 インチ以上で馬の顎に対し平らに装着出来るカーブストラップまたは、カーブチェーンを必ず併用する。カーブチェーンは、糸状または紐状の物でビットと結んではならない。ストラップまたはチェーンの故障は、必ずしも失格とはしない。

SHW305.8.1 ニ(2)本手綱の馬具についての詳細は、SHW509.1.6-509.1.7 を参照の事。

ACCEPTABLE CHAIN CURB STRAPS



© 2020 AMERICAN QUARTER HORSE ASSOCIATION

105

Acceptable Chain Curb Straps

使用可能なチェーンカーブストラップ

Western Bits

ウエスタンビット

3 1/2" Max Port (90mm) ポート部 3 1/2 インチ以下 (90mm)

5/16" to 3/4" (8 to 20mm dia.) 5/16 から 3/4 インチ (8~20mm 径)

8 1/2" Max. (215mm) 8 1/2 インチ以下 (215mm)

LEGAL BIT 合法的なビット

DONUT BIT ドーナツビット

PRONG BIT プロングビット

ILLEGAL BIT 違法なビット

SHW306. ウェスタン: 馬具のオプション

SHW306.1 ロープまたはリアタ: ロープまたはリアタを使用する場合は、らせん状に巻いてサドルに取り付ける事。

SHW306.2 サドルに取り付けたホブル。

SHW306.3 タパデロス* (使用禁止されているワーキングカウホースを除く)

* 鍔カバーの一種

SHW306.4 プロテクター (ブーツ)、肢巻、バンテージは、レイニング、ワーキングカウホース、ボクシン

グ、チームペニング、ランチソーティング、バレルレーシング、ポールベンディング、ステークレーシング、タイダウン・ローピング、ブレイクアウェイ・ローピング、ダリー・チームローピング(ヘディング)、ダリー・チームローピング(ヒーリング)、カッピング、ウエスタンホースマンシップ、VRH/RHC ランチレイニング、VRH/RHC カウワーク、VRH/RHC ランチカッピング、RHC ワーキングランチホース、RHC バレルレーシング、RHC チームローピング(ヘディングおよびヒーリング)RHC ブレイクアウェイ・ローピングおよび RHC ステアストップングで使用可。スリップオン(イージーケア)ホースブーツまたは関連の肢装着具は、保護用ブーツとは認められないため、全クラスで使用可とする。

SHW306.5 拍車。腹帯より前部で使用しない事。

SHW307 ウェスタンの禁止馬具

SHW307.1 プロテクター(ブーツ)、肢巻、バンテージはウェスタンプレジャー、トレイル、ホルター、ウエスタンライディング、ショーマンシップ、ランチライディング、VRH/RHC ランチライディング、ランチトレイル、VRH ランチトレイル、およびワーキングウェスタンレイルでの使用を禁止する。

SHW307.2 ワイヤ製カーブストラップ(緩衝材やカバー類の有無に関わらず)、または鋏やリベット付きのカーブストラップ。

SHW307.3 ハーフ(0.5)インチより幅の狭いカーブストラップ。

SHW307.4 チェーン、ワイヤまたは金属製タイダウン*またはボンネットは緩衝材やカバー類の有無に関わらず禁止。

SHW307.5 AQHA 公式イベントでは以下を禁止とする。ベリーバンド*¹⁶、鋸歯(saw tooth)ビット*¹⁷、ホックホブル*¹⁸、鋏付きカラー、鋏付きカーブストラップまたは鋏付きハックモア、ショーマンシップで使用する鞭、ウォーブライドルまたは同様の器具、カーブストラップなしでのカーブビット使用、緩衝材の有無に関わらずワイヤ状または金属板のストラップは不可、ワイヤ製カブソン、ワイヤまたは紐状のタイダウン*¹⁹、バンパービット*²⁰、金属製ポーサル(緩衝材の有無に関わらず)、シャンボン、金属製のブライドル類(緩衝材やカバー類の有無に関わらず)、捻ったローハイドまたはロープも馬の頭部に使用しない事(3/8 インチ径をスリップビット/ギャグビットまたはボンネットと使用するのは可)、ランニング・マーチンゲールをカーブビットに使用する、手綱止めなしで使用する、返し手綱を前肢の間または周囲に取り付け使用する。

SHW307.6 ローピングでのジャーク・ライン

SHW307.7 ローピングでの鋏付きカラー

SHW307.8 タイダウンにカブソンや鼻革が作り付けでない事。競技中はカブソンや鼻革はすべて禁止とする。

SHW307.9 フェンダーは、糸その他の素材で繋がれていない事。

SHW331. 歩様 ウェスタンプレジャー。 下記用語はウェスタンプレジャーの歩様の説明である。

SHW331.1 ウォーク

SHW331.1.1 ウォーク(不良)- ペースが不均一で、リズムがない。滑らかさに欠け、馬がびくびくしているまたは行進しているように見える。

SHW331.1.2 ウォーク(可) -4 拍子の歩様、トップラインが水平で、リラックスしている。

SHW331.1.3 ウォーク(良) -滑らかな 4 拍子の歩様、トップライン(背部)が水平で、リラックスしており快活で集中している。

SHW331.2 ジョグ

SHW331.2.1 ジョグ(極めて不良)-2拍子の歩様を維持出来ず、動きに流れやバランスがない。

SHW331.2.2 ジョグ(非常に不良)- 動きにためらいがある。均等でバランスの取れた動き、またはトップラインの水平を維持していない。

SHW331.2.3 ジョグ(不良)- 標準的な動きだが、後肢が常歩している、後肢の蹄先を引きずる、前肢と後肢のストライドの幅が不均等である等のマイナス点がある。

SHW331.2.4 ジョグ(並または可)- 2拍子の歩様、水平なトップライン、馬がリラックスした様子。

SHW331.2.5 ジョグ(良) -標準的歩様、前肢と後肢の歩幅が同じ中にも、バランスやセルフキャリッジ等の良い特性が見られる。

SHW331.2.6 ジョグ(非常に良い)- 均一な2拍子の歩様で快適な乗り心地。馬は良い運歩でリラックスした様子、トップラインは水平である事。

SHW331.2.7 ジョグ(極めて良い)- 軽々とした、とても効率的な動きで、四肢は躍動しながらも、着地は軽やかである。自信に満ち、それでいて動きは柔らかく安定していて、手の内に入っている。膝と飛節はフラットな動き、つなぎはクッションのある動きをしている。快活で機敏な様子で、「非常に良いジョグ」よりも、更に前進気勢とセルフキャリッジに優れている事。

SHW331.3 エクステンドジョグ

SHW331.3.1 エクステンドジョグ(不良)- ストライドの伸長がなく、乗り心地が悪そうに見える。

SHW331.3.2 エクステンドジョグ(並)- ペースが上がり、乗り心地はスムーズに見える。

SHW331.3.3 エクステンドジョグ(良) -歩幅の伸長が明白で、ペースがわずかに上がるが、扶助に軽くスムーズに騎乗しているように見える事。

SHW331.4 ロープ

SHW331.4.1 ロープ(極めて不良)- 3拍子の歩様が出来ておらず、流れ、リズム、バランスがない。乗り心地が悪い。

SHW331.4.2 ロープ(非常に不良)- 3拍子の歩様に見えるが、前進気勢やセルフキャリッジが認められない。馬が滑らかさに欠け、頭を上下させながら足を引きずる様子は、頑張っってやっと歩様をこなしているように見受けられる。また、乗り心地も悪そうに見える。

SHW331.4.3 ロープ(不良)- 動きは平均的ながら、頭を上下させたり、一ストライドが前肢で終わらない、(踏み込みが悪くて)飛端が馬の尻より後ろに残っていると、マイナス点が見られる。

SHW331.4.4 ロープ(可) -水平なトップライン、正しい3拍子の歩様で、頭と頸の動きが僅かである。馬が(傾き過ぎず)比較的真っすぐで、扶助に従順な、リラックスした様子であること。

SHW331.4.5 ロープ(良) -標準的歩様だが、動作の中にセルフキャリッジや安定したトップライン、リラックスした外見や選手の扶助に従順であるなど、良い特性が見られる。

SHW331.4.6 ロープ(非常に良い)- 平均的な馬より前進気勢や流れがあり、滑らかだが力強い後軀からの駆動力がある。僅かに膝が屈曲するのはよいが、トップラインは水平を保ち、リラックスした様子でセルフキャリッジが見られる事。

SHW331.4.7 ロープ(極めて良い)- 背は婉曲し、前肢はフラットなスイングで、後肢は軽々として、力強く、深いストライドである事。トップラインは水平を保ち、リラックスしながらも、機敏で自信に満ちた様子をしており、収縮姿勢でありながら柔軟である。極めて優れたリフトとセルフキャリッジを擁する特別な馬である事。

SHW331.5 バックアップ

SHW331.5.1 バックアップ(不良)- 前軀が重く、抵抗が見られる。口を割って、頭を振る、または曲がって後退すること。

SHW331.5.2 バックアップ(並)- 静かに軽いコンタクトで、躊躇なく、真っすぐ後退する。

SHW331.5.3 バックアップ(良) -バランスの取れた滑らかで流れるような歩様。セルフキャリッジを保ち、口を割ることなく、軽いコンタクトで躊躇なく、真っすぐに後退する。

SHW334 歩様—ランチクラスおよびワーキングウエスタンレイル。全歩様において、ランチホースの動きは、長距離を柔軟かつ静かに走破するワーキングランチホースのそれを模している事。

SHW334.1 ウォーク -ウォークは自然なフラットフット(常歩)で、4 拍子の歩様である。リズムカルで前進氣勢がある。全歩様において、馬のトップラインは水平またはわずかに上で、快活で集中した様子である事。

SHW334.2 エクステンドウォーク -エクステンドウォークは、明白に歩幅が伸び、それに従い自然にペースが上がる事。馬は広い牧草地を移動するかのように、自然に動く事(ランニングウォークではない)。

SHW334.3 トロット -トロットは自然な 2 拍子の歩様で、ウエスタンのジョグよりも、前進氣勢のある歩様。

SHW334.4 エクステンドトロット -エクステンドトロットとは、歩幅が明白に伸び、ペースが明らかに上がる事である。トップラインは水平より高く、馬は牧場の広範囲を走破するかのように動く。

SHW334.5 ロープ -ロープとは 3 拍子の歩様である。ロープは、リラックスした滑らかで自然な前進歩様である。

SHW334.6 エクステンドロープ -エクステンドロープは、運歩を早めたり、競ったりするのではないが、歩幅が明白に伸び、前進速度を上げる歩様である。馬のトップラインは水平より高く、快活で集中した様子である事。

SHW355.1.1 セーフティリードとは、ソフト/フレキシブルな、摩擦防止の保護皮革または皮様カバー付き 4.0mm 以上のゲージのチェーンに、固定されていないキーパーが付き、ホルターからキーパーの取り付け部まで 3/4 インチ以上あるもの。VIO204.13 内参照先

ショーマンシップ

SHW370. ホルター・ショーマンシップ。 アマチュアとユース部門のみ。ショーマンシップは、よく手入れ・調教された馬と協調し、ジャッジが作成した一連のマニューバーを冷静さと自信を持ち、バランスのとれた機能的で根本的に正しい体勢で、正確かつスムーズに遂行する選手の能力を評価する為に考案された。

SHW373. 採点。 選手は 70 点を平均点として 0 点から上限なしで採点される。パターンは、ジャッジが指定した 6 から 10 のマニューバーに分けられ、各マニューバーは 1/2 ポイント刻みで+3 点から-3 点の間で 70 点に加点・減点する。マニューバーの点数は、ペナルティとは無関係に判定し、選手のパターン成績およびフォームと有効性、馬の見栄えを同等に評価し、以下の通り採点する。+3 優良, +2 かなり良い, +1 良, 0 並または可, -1 不可, -2 非常に不良, -3 極めて不良。選手の総合的なフォームと有効性も、0 から 5 の間で、0~2 を並、3 良、4 かなり良い、5 優良として採点する。

SHW375. 選手のプレゼンテーションおよび所作。 選手は適切なウエスタン乗馬用の衣装を着用し、衣類と選手は清潔できちんとしている事。ライター、乾草、泥、尖ったピン、マグネット装置、その他、如何なる人工扶助の使用も、失格となる。

SHW376. 馬のプレゼンテーション。 馬体の状態と体調を総合的に評価する。被毛は清潔で、よくブラシ掛けされており、良好な状態である事。たてがみ、尻尾、前髪、髻(き)甲(こう)の毛房には、装飾品(飾り紐、蝶結びリボン等)を付けてはならないが、イングリッシュまたはウエスタン用に、ブレイド(編み込み)や

バンド(糸で縛る)を施すのは可。たてがみと尻尾の長さは其々だが、きちんと清潔に保たれ、もつれがないこと。たてがみの長さは均一またはローチ*(たてがみを刈る、抜くなどして立つまで短く揃える)され、前髪と髻(き)甲(こう)の毛房は残されている事。政府規制で禁止されている場合を除き、ブライドルパス(ブライドルの収まりをよくするため頭頂部のたてがみを短く刈る)、眉毛および、頭部と四肢の長毛は刈り揃えてもよい。蹄はきちんと削蹄され、蹄鉄を着けている場合、正しく装着され、クリンチ*(釘締め)の跡はきれいに整えられている事。蹄は清潔で、黒く塗るか、蹄油を塗るまたは自然な状態である事。馬具はきちんと馬体に合い、整備、清掃が行き届き、きちんと修理されている事。

SHW377. パターン・パフォーマンス 選手は、精密、正確、そしてスムーズに、かつ適度なスピードで演技をする事。速度を上げるとは、難易度を上げることだが、速度のために精密さと正確さを犠牲にすべきではない。馬は、リード、ストップ、バック、ターン、セットアップを、最低限の音声や目視出来る合図で、進んで俊敏かつ快く行う事。

SHW378. ペナルティ。 マニューバーの評価とペナルティの適用は、切り離して判定する事。以下ペナルティは発生する毎に適用され、最終スコアから差し引かれる。

SHW378.1 三(3)点減点

ウォークまたはトロット中、指定外の歩様で2歩以内進む。

1/8回転以内の、過小または過剰なターン

コーンにぶつかる、または音を立てる

軸足がスライドする

ピボット中に、軸足を持ち上げ、同じ場所に戻す

セットアップ中に肢を持ち上げ、演技後に同じ場所に戻す

SHW378.2 五(5)点減点

特定の歩様を発進しない、または指定位置の10フィート(3メートル)以内で止まらない

ウォークまたはトロット中、指定外の歩様で2歩以上進む。

コーンを隔てる(コーンを挟んで馬と選手が離れる状態)

馬がターンやピボット中、ステップアウトするまたは大きく後躯を動かす

馬が演技後にセットアップから外へ出る

馬がセットアップ中に片肢を休めている、またはヒップショット*(片方の臀部を下げて立つ)している。

1/8回転または1/4回転、過小または過剰にターンする

SHW378.3 十(10)点減点

インスペクション時、選手が定位置にいない

選手が、セットアップ中に馬に触れる、または馬の四肢を蹴るまたは足で指す、馬の正面に立つ

リードチェーンを離す、チェーン部分を持つ、または両手がチェーンに触れる。

咬む、蹴る、後肢で立つ、前掻きする、馬が選手の周りを回り続ける等の明白な反抗

ピボットやターンの際、一回以上、後躯を大きく動かす、またはステップアウトする

SHW378.4 失格には以下が含まれる(順位外とする)

馬が制御不能となり、選手、他の馬、またはジャッジを危険に晒す

馬と選手が離れ離れになる

正しい番号を掲示していない

故意の虐待

過度な調教、訓練。人工扶助具の使用等

違法な馬具の使用

パターンから外れる。(コーンやマーカを倒すまたは反対側を通る、指定の歩様を一度も発進しない、

1/4回転以上の過小または過剰なターン

ランチライディング

SHW416. ランチライディング。 ランチライディング・クラスの主旨は、馬が牧場の仕事を次々とこなし、移動手段として使用されながらも、乗馬の楽しみをもたらす能力を測る事である。馬はアリーナの囲いの外で働くランチホースの多才さ、心構え、所作を映し出すのである。馬はよく訓練され、全歩様において、リラックスし、静かで落ち着いていながらリズムカルである事。理想のランチホースは運動に前進氣勢があり、エクステンド歩様において、歩幅の明白な伸びを見せる。軽いコンタクト、または不当な拘束をしなくても比較的ゆるい手綱で騎乗出来るが、完全な休め手綱で騎乗するわけではない。動作の質だけでなく、スムーズかつ正確に、適時(次の動作へ)移行する為の総合的な態度や応答度合いが主要な判断基準である。理想のランチライディングホースは、其々のマニューバーにおいて、頭から尻尾の先まで、自然なランチホースの容姿をしている。

SHW416.1 レベル1として出場の3歳以上馬、ジュニア、シニア、または全年齢オープンクラス、および、レベル1ユース、13歳以下、14~18歳、または全年齢ユースクラス、レベル1アマチュア、レベル1セレクト、セレクト、または、全年齢アマチュアクラス対象。

SHW416.2 部門に関わらず、同一大会にて一頭の馬を、ウエスタンプレジャーまたはウォーク/トロットウエスタンプレジャーおよび、ランチライディング・クラスに重複参加させてはならない(ユース、アマチュア、セレクト、オープン)。完全なバーサティリティランチホースの大会においてのみ、大会管理陣は、AQHAランチライディングおよびVRHランチライディングを同時開催してもよい。同時に開催する場合、AQHAランチライディング規則(SHW416~419.8)が適用される。

SHW417. クラス規定

SHW417.1 各馬個別にパフォーマンスを行う。馬は、70点を平均として、0から100点の間で採点される。マニューバー毎に、70点からスコアを加減し、ペナルティがあればそこから減点される。各マニューバーは、下記基準により+1 1/2 から-1 1/2の間で評価される:-1 1/2 極めて不良、-1 非常に不良、-1/2 不良、0 可、-1/2 良、-1 非常に良、+1 1/2

極めて良。マニューバーのスコアは、ペナルティとは別に判定、採点されること。ナチュラルなランチホースの外観も+1 1/2 から-1 1/2の間で評価される。

SHW417.2 定められた15パターンの内1つを使用すること。例外としてAQHAワールドおよびレベル1チャンピオンシップイベントでは他のパターン使用が認められる。

SHW417.3 全体的なケイデンスや歩様については、歩様(SHW334 ランチライディング)に詳述の通りとし、全歩様において、前進性、流動性、歩幅に重点をおく。歩様の移行は指定位置でスムーズかつ機敏に行う。

SHW417.4 制限時間はなし。

SHW417.5 天然木のログ使用推奨。

SHW417.6 通常のトロットとロープ中はシッティング推奨。エクステンドトロットおよびエクステンドロープ中に鐙に立つ事とエクステンドトロットでのポスティングは可とする。

SHW417.7 サドルホーンに触る・捕まるのは可とする。

SHW418 ランチライディングの服装および馬装

SHW418.1 蹄のポリッシュ剤使用は禁止。

SHW418.2 たてがみ/尻尾、または尻尾のエクステへのブレイドやバンドは禁止。

SHW418.3 耳の中のトリミングは推奨されない。

SHW418.4 ブライドルパスのトリミング、球節や過剰(長い)顔の毛のトリミングは可とする。

SHW418.5 シルバー装飾の付いたものが、機能性の高い馬具をおいて重視される事はない。

SHW418.6 大会ではプレストカラーおよびリアシンチの使用推奨。

SHW418.7 スナッフلبिटまたはハックモアで競技に出場する場合、選手は手綱を持つ手を両拳または片拳にいつでも変更してよい。

SHW419. ランチライディングのペナルティ。マニューバーの審査とペナルティの適否は、個別に決定されるものとする。以下のペナルティが発生毎に課され、ファイナルスコアから減点される。

SHW419.1 壱(1)ポイント減点対象

遅すぎる(歩様毎)

巻き込み*(マニューバー毎)

体躯が伸び過ぎている(マニューバー毎)

ウォークまたはトロット中、指定外の歩様で進む(2 ストライド以内)

反対手前または不正手前(2 ストライド以内)

SHW419.2 参(3)ポイント減点対象

ウォークまたはトロット中、指定外の歩様で2 ストライド以上進む。

ロープ中、(間違っただ手前を直す場合を除き)指定外の歩様で進む。

反対手前または不正駈歩。

たるんだ手綱(マニューバー毎)

踏歩変換時、2 歩以上反対手前または不正駈歩で進む

シンプルチェンジ(単純踏歩変換)時、3 歩以上トロットで進む

障害物を大きく落下させる／乱す

SHW419.3 五(5)ポイント減点対象

明白な反抗(蹴る、咬む、尻跳ね、後肢で立つ、前搔き等)につき、各反抗毎。

SHW419.4 拾(10)ポイント減点対象

ランチホースとして不自然な様子(馬の尻尾が各マニューバー中、明らかにずっと不自然な状態にある)

SHW419.5 (OP)全マニューバーを完遂した馬よりも下位になるケース

マニューバーをとばすまたは増やす

不完全なマニューバー

複数回の明白な反抗

両手の使用(スナッフلبिट／ハックモアで出場するジュニアとレベル1馬を除く)、二本手綱の間に一本以上の指を置く、またはローマル手綱の間に指を置く(二本手綱の場合を除く)

SHW419.6 ゼロ(0)点

フーフブラック、たてがみのブレイド(編み込み)、バンド(糸で縛る)、尻尾エクステを含めた違法馬具。

意図的な虐待

SW419.7 ログを噛む／当たる事へのペナルティは特にないが、マニューバーのスコアから減点する事。

SHW419.8 オーバー／アンダー スピンへのペナルティは特にないが、マニューバーのスコアから減点する事。

ワーキングウエスタンレイル

SHW425. ワーキングウエスタンレイル。 ワーキングウエスタンレイルとは、ワーキングホースの柔軟な対応力や態度、動きなどに反映される乗馬の快適さを判定するクラスである。馬はよく調教され、全歩様においてリラックスし鎮静してソフトでケイデンスを踏している事。ワーキングウエスタンレイルの馬の動きは、長距離歩行する馬と似てソフトで静かである。馬の全体的なマナーや反応の機敏さ、動作の質が主な判断基準である。自然で流れるようなストライドと、安定した伸長歩様を持つ馬に最大の評価が与えられる。リクエストに沿ってスムーズかつ機敏に歩様の移行を行う事。ワーキングウエスタンレイルの馬は各歩様において自然な頭部の運びが理想である。比較的ルーズな手綱で、不要な拘束を必要とする事なく軽いコンタクトでライダーに機敏に反応し、スムーズで正確な歩様の移行を適切に行える事。馬は衝に対しソフトでコンタクトに譲りを示し、手綱は完全に弛んでいる状態ではない事。ライダーは既定の歩様の伸長に応じ、適切なスペースを取る事。本クラスでは、前進氣勢があり仕事に適したペースで、尚且つライダーの手の内に収まり仕事をこなす馬の能力を審査される。馬はグループの中でもバランスが取れ、意欲的で乗馬に快適な様子である事。

SHW425.1 3歳以上の馬対象。ジュニア、シニア、全年齢オープン部門、およびユース部門全年齢クラス、セレクトまたは全年齢アマチュア部門のクラスがある。

SHW425.2 馬は部門に関わらず、同じ大会のウエスタンプレジャーまたはウォーク／トロットウエスタンプレジャーとワーキングウエスタンレイルクラスにクロスエントリーしてはならない。(ユース、アマチュアまたはオープン)

SHW426. クラス要項

SHW426.1 全出場者でグループワークを行う。ルールを外れた個人はペナルティを科されない、追い越し可。

SHW426.2 馬はウォーク、トロット、ロープでリングの両方向を走行する事。馬は最低でもどちらかの手前でエクステンドトロットとエクステンドロープをする事。ジャッジの判断により、ウォークで歩幅の伸長を指示する事も可。

SHW426.3 全体的なケイデンスと歩様のパフォーマンスは、SHW334 歩様に詳細の通りだが、特に前進氣勢のある、流れるようで距離を走れる動きを強調したものである事。

SHW426.4 エクステンドトロット／ロープでは、ライダーはポスティングまたは鐙に立つ事も可とする。

SHW426.5 いずれの歩様でもエクステンド中はサドルホーンに触れる・掴まる事を可とする。

SHW426.6 馬は内方に向かってリバースする事(ルールから離れる)。ジャッジの判断により、ウォークまたはトロットでのリバースを行う場合があるが、ロープ中のリバースは行わない事。

SHW426.7 馬は容易にバックし、静かに立ってられる事。中央に連れてきても、ルールでバックしてもよい。

SHW426.8 ジャッジが馬装をチェックしたいと要望している場合を除き、ライダーに下馬を要求しない事。

SHW427. ワーキングウエスタンレイルの服装および馬装

SHW427.1 フーフポリッシュおよびフーフブラックの使用禁止。

SHW427.2 たてがみ・尾のブレイドやバンドおよびテールエクステ禁止。

SHW427.3 耳の中の毛のトリミングは推奨しない。

SHW427.4 ブライドルパスのトリミング、球節や顔の過度な長毛のトリミングは可。

SHW427.5 銀装飾を施した馬具よりも機能的な作業着を重視する。頭絡や鞍への過度な銀装飾は推奨されない。

SHW427.6 胸がいとリアシンチの使用を推奨する。

SHW427.7 スナッフルビットまたはハックモアで出場する場合、ライダーは手綱を両手・片手いずれの持ち方にいつ変えてもよい。

SHW427.7.1 両手の使用(スナッフルビット／ハックモアで出場するジュニア馬を除く)、スプリット手綱の間に一本以上指を入れるまたはロマル手綱の間に指を入れる(二本手綱の場合を除く)、これらは失格対象。

SHW428. 以下過失の程度で減点する。

遅すぎる(全歩様)

過剰なスピード(全歩様)

巻き込み過ぎ

頭位が低すぎて、鬚甲^{まげ}よりも項^{うなじ}の位置が低い

体躯の伸び過ぎ

歩様の中絶

反对手前・不正手前

指示通りの歩様を、適宜発進出来ない

過剰に口を割る

たるんだ手綱

シンチより前で拍車を使用する

傾いたロープ

明白な反抗(蹴る、噛む、尻っ跳ねる、立つ、等)

SHW429. 失格となる過失:頭位が低すぎ(同時に・または)走行中に継続して過剰に巻き込んでいる、またはその他威嚇的な外観が見て取れる。

ウエスタンホースマンシップ

SHW430. ウエスタンホースマンシップ。アマチュアおよびユース部門のみ。ウエスタンホースマンシップは、ジャッジが定めたマニューバーを、選手がバランスの取れた機能的で基本的に正しい体位を維持し、馬と協調しながら落ち着きと自信を持って、正確かつスムーズに実行する能力を評価する為に考案された。理想的なホースマンシップのパターンとは、選手と馬が完全に調和し、極めて正確に、繊細な合図や扶助で各マニューバーを行う事である。馬の頭と頸は、項^{うなじ}が鬚甲^{まげ}と水平か少し高く、リラックスした自然な位置

にあるのがよい。頭部は、垂直よりも内側に巻き込んで、威嚇する様子だったり、鼻先を伸ばしすぎて、反抗している様子でない事。

SHW431. クラス進行と内容: 全選手がリングに入場し個別に騎乗する、または各選手がゲートから順次入場・騎乗する。ゲートから各個に入場する場合、順番表が必要。選手は、騎乗後にアリーナを出るのか、列の後ろに並ぶのか、蹄跡上の所定の位置に行くのか、指示を受ける事。クラス全員またはファイナリストのみの場合も、最低でも1つの手前で全三歩様で騎乗する事。パターン内で認められるマニューバーは以下、ウォーク、ジョグ、トロット、エクステンドトロット、ロープまたはエクステンドロープでの、直進、カーブ線、蛇乗り、サークル、8の字、またはこれら歩様とマニューバーのコンビネーション、ストップ、直線またはカーブ上のバック、ターンまたはピボット(スピンと後躯および・または前躯のロールバックを含める)、サイドパス、2トラック(2蹄跡運動)、レッグイールド、フライングまたはシンプル・リードチェンジ、カウンタ

一・キャンター(反対駆歩)その他のマニューバー、または鐙無しでの騎乗。クラス中のどこかで、バックする事が要求される。ジャッジは、選手にマウント・ディスマウント(乗馬・下馬)を要求しない事。

SHW432. スコア基準。選手は70点を標準パフォーマンスとし、0から上限なしで採点される。パターンは、ジャッジが指定した、6から10のマニューバーで構成され、各マニューバーは、3から-3点を、1/2刻みで70点に加点・減点する。マニューバーのスコアは、ペナルティとは関係なく判定し、選手のパターン成績とホースマンシップのフォームおよび有効性を評価し、次の通り採点する。-3極めて不良、-2非常に不良、-1不可、0並または可、+1良、+2かなり良い、+3優良。選手の総合的なホースマンシップのフォームと有効性も、0から5の間で、0~2を可、3良、4かなり良い、5優良として採点する。選手のレールワークも考慮されるべきであり、パターンのスコアおよび/またはランキングに適宜反映する事。

SHW433. 人馬の総合的なプレゼンテーション。

選手のクラスを通しての、全体的な振舞い、自信、外観、姿勢および、馬の身体的外観も評価される。

SHW434. 選手の装備品および騎乗姿勢 ウェスタンの正装である事。着衣および選手はきちんとして清潔である事。人工扶助器具または磁気装置の使用は失格とする。

SHW434.1 選手はマニューバーや歩様に関わらず、騎乗姿勢が自然に見え、バランスが取れた機能的で正しい姿勢である事。レールワーク(部班)やパターンの最中、選手はしっかりと安定した正しい姿勢を取り、すべての歩様において、上半身が直立した騎座を保つ事。

SHW434.2 選手は、馬の背とサドルの中央に座り、脚は、耳から肩の中心、腰、踵の後ろまたは足首を直線で繋げる位置におく。踵はつま先より下げ、膝は軽く曲げて、下肢は膝の真下におく。選手の背中中は真っすぐでリラックスし、柔軟である事。腰が硬過ぎる、および/または、曲がり過ぎている場合、ペナルティの対象となる。肩は、水平で真っすぐな位置に引く。選手の支持基底(base of support)は、騎座から内腿まで、確実にサドルとのコンタクトを維持している事。膝からふくらはぎまでは、サドルと馬体とに軽いコンタクトを維持していて、膝は前を向き、サドルと選手の膝との間は隙間なく密着している事。脚の位置が、垂直よりも過剰に後ろや前の場合、ペナルティの対象。鐙(stirrup)の種類に関わらず、足はブーツの踵が鐙に触れる状態で鐙の中に置く、または、母指球(親指の付け根のふくらみ)を鐙中央に置く。

つま先は、真っすぐ前または僅かに外向きで、足首は真っすぐまたは僅かに内方に屈曲している事。つま先だけが鐙に乗り、ブーツの底がしっかりと鐙の底部に付いていない場合、ペナルティの対象となる。全マニューバーを通して、正しい姿勢を維持出来る選手は高く評価する事。鐙無しで騎乗する場合も、選手は前述の姿勢を維持する事。両拳と腕は、リラックスして楽な様子で、上腕部は上体と垂直である事。レインを握る側の腕は、馬の口と肘を結ぶ線に沿うように、肘を曲げ、フリーハンド側は、肘を曲げレインハンド側と同様の位置に拳を置く、または、上体の横に真っすぐ下ろす。

フリーハンド側の腕が過剰に振れたり、過剰に硬い場合、どちらもペナルティの対象。選手の手首は真っすぐで、リラックスし、拳は垂直に対し約30~45度内方で握る。レインハンドは、サドルホーンの真上または僅かに前に置き、馬の口と軽いコンタクトを維持出来るようレインを調整し、馬をコントロールする為の拳の動きは、常にごく僅かでなければならない。過度に短いまたは緩いレインは、ペナルティの対象となる。

SHW434.3 選手の頭部は、顎は水平に、目は前を向き、頭は僅かに進行方向に向いていてもよい。サークル運動の内方に頭を曲げすぎたり、馬の頭や肩の方へ下がっている場合、ペナルティの対象となる。

SHW434.4 選手は、レイルワーク(部班)の際、隣や前にいる他選手を追い込んではいならない。また追い越す際は、アリーナ内側を通る事。レイル(経路上)で、リバースする時は、必ずアリーナ内側に向かってリバースする事。

SHW435. 馬のプレゼンテーション

馬の体調および健康やコンディショニングが総合的に評価される。馬は、健康で身体のサイズに適正な体重であること。馬が不機嫌、ぼんやりしている、無気力、やせ衰えている、やつれている、または過度に疲

れている場合、その度合いによりペナルティが課される。馬具は馬に適切にフィットしており、清潔できちんとしており、適宜、修理がされていること。

SHW436. パターン・パフォーマンス

選手は、演目を正確にかつ明確、スムーズに、適度なスピード感を持って行うこと。マニューバーの速度を上げることは、難易度を上げるが、速度の為に精度と明確さを犠牲にするべきではない。パターンをダラダラと騎乗して、馬が適切な前進氣勢や収縮、リズムなしで動いている場合、選手にペナルティが課される。

SHW436.1 馬は、進んで、活発に、そして敏速に、パターン中のすべてのマニューバーを行い、目に見える合図や音声扶助は最低限であること。

SHW436.2 馬は、指定の歩様で、真っすぐにのびのびと、適切なリズムで走行すること。歩様の移行は蹄跡上や、パターンの指定位置で、スムーズかつ迅速に、蹄跡上で扶助があった時に行う。馬の頭と頸は、体躯と一直線上にあり、曲線やサークル上では僅かに弓形であること。サークルは円形で、パターンで定められた、適切なスピード、サイズ、位置で行う。反対駆歩(カウンターキャンター)は、パターンで定められている場合を除き、テンポや歩幅を変えずにスムーズに行うこと。

SHW436.3 ストップは、四肢を揃えて真っすぐ、機敏かつスムーズで、マニューバーを通して、馬体は真っすぐであること。バックアップはスムーズにかつ敏速であること。

SHW436.4 ターンは、スムーズで途切れないこと。ターンオンザホンチスを行う際は、馬は内方後肢を軸に、前肢を旋回させる。ロールバックは、ストップと後肢を軸にした 180 度の旋回を躊躇いなく行うことである。ターン途中での後退は厳しいペナルティの対象となる。

SHW436.7 選手の姿勢および経路上での選手と馬のパフォーマンスは、決勝の順位決定に加味される事。

SHW437 ペナルティ。 マニューバーの評価とペナルティの適用は切り離して判定する事。以下のペナルティは発生毎に適用され、最終スコアから差し引かれる。

SHW437.1 三(3)点減点

ウォークまたはジョグ中、指定外の歩様で進む。(2 ストライド以内)

1/8~1/4 回転、アンダーまたはオーバーターン

コーンにぶつかる、または動かす。

SHW378.2 五(5)点減点

特定の歩様の不履行、または指定位置の 10 フィート(3 メートル)以内で停止しない

ロープの手前が不正または指定外の歩様で進む(不正な手前を修正する時を除く)

ウォークまたはトロット中、指定外の歩様で 2 歩以上進む。

鐙が脱げる

バックアップを含む全歩様で、鐙のパッドからブーツの底が離れる。

馬の頭位が低すぎるおよび/または走行中、明らかに巻き込み過ぎて威嚇的に見える。

手前を確認するために明らかに下を見る。

SHW437.3 拾(10)ポイント減点対象

手綱を取り落とす

パターン上またはレールワーク中、拳を使って恐怖を与えるまたは褒める

いづれかの拳でサドルを掴む

ローマルの端で扶助を行う

明確な反抗(蹴り、前掻き、尻っぱね、立ち上がる等)

腹帯より前でのスパークの使用

SHW437.4 失格(着外)

ゼッケン番号の間違い

馬に対する虐待または調教

落馬または馬の転倒

違法馬具または手綱に対する違法な拳の使用

禁止馬具の使用

オフパターン(コーン／マーカーを倒す、反対側を通過する、指定の歩様やリードを一度も発進しない、1/4回転以上のオーバーターンまたはアンダーターン。

トレイル

SHW461. トレイル。本クラスでは馬の障害飛越のパフォーマンスが審査され、主にマナーやライダーへの反応、馬体の動きに重点が置かれる。堂々としたアプローチや適度なスピード感、ポジティブな様子、外から見えない・聞こえない程度の最小限の扶助にも正確さを欠く事なく応じる等が加点対象となる。障害物に対する注意力や、必要に応じてコース上で道を選ぶ能力、より難易度の高い障害でライダーの扶助に進んで従う馬に加点される。アプローチや通過での不要な減速はペナルティ対象である。障害飛越のフォームが不自然な馬もペナルティ対象。ルールワークは行わない。ただし、各馬がコース上の障害物の間のどこかで三種の歩様(ウォーク、ジョグ、ロープ)をするようコースデザインし、動きやケイデンスの評価をマニユーバスコアの一部として考慮する事。障害物間の移動線上で、馬はバランスよく頭部と頸を自然な位置でリラックスさせ、項(うなじ)は鬚(き)甲(こう)と水平か少し高い位置にある事。頭部は垂直よりも内側に巻き込んで威嚇する様子だったり、鼻先を伸ばしすぎて拒否する様子でない事。

SHW461.1 部門に関わらず、トレイルとランチトレイルまたはトレイルとバーサティリティランチホーストレイルへの同時エントリーを禁ずる。

SHW462. コースは、クラス開始予定時刻の最低一時間前までに掲示する事。

SHW463. 採点方法。スコアの範囲は 0-上限なし、70 点を平均パフォーマンスとする。各障害物に対して、障害物スコアを 70 点に加減点し、さらにペナルティを差し引く。各障害物は以下の基準で採点する。プラス 1 1/2 からマイナス 1 1/2 の範囲で行う。-1 1/2 極めて不良、-1 非常に不良、-1/2 不良、0 可、+1/2 良 +1 非常に良い +1 1/2 極めて良い。障害物のスコアはペナルティの点数とは別枠で判定される。

SHW464. ペナルティ。マニユーバーの評価とペナルティの適用は個別に判定する事。以下のペナルティが発生毎に適用され、最終スコアから差し引かれる。

SHW464.1. 二分の一(1/2)点

ログ・ポール・コーン・植栽・障害物周辺部位に接触するまたはぶつかる。

SHW464.2. 壹(1)点

ログ・コーン・植栽・障害物の部位に音を立ててぶつかる、噛む、踏む。

ウォークまたはジョグ中、2 ストライド以下の不正または歩様の途切れ。

ウォークまたはジョグ中、1 ストライドのスロットまたはスペースに両前肢または後肢が入る

指定のスペースに入らない、または飛び越える

ロープオーバー中、ポールを跨ぐ時に歩様が乱れる

SHW464.3. 三(3)点

ウォークまたはジョグ中の、2 ストライド以上の不正歩様または歩様の中断。

ロープ中の不正手前または歩様の中断(不正な手前を修正する時を除く)

地表より高く設置されたポールや、コーン、バーレル、植栽、障害物を倒したり、障害物を大きく乱す。

橋やウォーターボックスの上／中に馬が着地してから、一肢がそこから落下するまたは飛び出る。

指定の境界線が決められた障害物の線内に入ってから、その外に一肢が踏み出す(例: バックスルー、360 度ボックス、サイドパス)

連続したポールを一肢だけ避けるまたは外す

SHW464.4. 五(5)点

コース走行中に持ち運ぶよう指定された物やスリッカーを落とす

度重なる拒否、躊躇、または尻込みしたり後退りして障害物を避ける(一度目・二度目)

ゲートから手を離す、またはロープゲートを取り落とす

拳を使用し恐怖を与えるまたは褒める

橋やウォーターボックスの上／中に馬が着地してから、肢が二本以上そこから落下するまたは飛び出る。

指定の境界線が決められた障害物の線内に入ってから、その外に肢が二本以上踏み出す(例: バックスルー、360度ボックス、サイドパス)

連続したポールの一部を肢が二本以上避けるまたは外す

明白な反抗(蹴る、尻っぱねる、立ちあがる、叩く等)

いづれかの拳でサドルを掴む

SHW464.5. 失格-0点

両拳の使用(両拳を使用するよう定められたスナッフルビット／ハックモアクラスを除く)、または持ち手の変更。

ハックモア／スナッフルビットで出場のジュニアホースを除き手綱には片拳のみ使用、ただしウエスタン馬具の項に記載される通り障害物競技などで持ち手を変えたり、ストップしてから手綱を正す事は許される。

ウエスタン馬具の項に記載される以外のローマルの使用

障害物の競技方法または手順を間違える

障害物の競技を実行しない

パターンの完走を遅らせる馬装の不備

過度にまたは何度も馬の頸に触れて頭を下げさせる

障害物の間違った側や方向から出入りする

1/4回転以上のオーバーターンを含め、進路を間違う

指定されたアリーナの境界マーカ―やコースエリアの外で騎乗する

度重なる拒否、躊躇、または尻込みしたり後退りして障害物を避ける(三度目)

一度も正しい手前や歩様を指定の通り行わない

障害物間の正しい経路を踏まない

コース上での過度な調教、引っ張る、ターン、足踏み、後退り

ゲート開閉の失敗またはゲート行程の未完了(完走者全員よりも下位となるユースレベル1とアマチュアレベル1, ルーキークラスを除く)

SHW464.6. 深刻度により決定される障害物間の経路上で起こるフォルトのスコアは以下を含む:

頭を高く持ち上げすぎる

走行中も頭位が低すぎ／垂直より手前で過度に巻き込み状態を維持する、または脅迫的な外観である

過剰に口を割る

SHW464.6. ルーキークラス／アマチュアまたはルーキーレベル1／ユースレベル1 深刻度によっては失格となる障害物間の経路上で起こるフォルトは以下を含む。頭位が低すぎる(常に耳の先が鬢(き)甲(こう)よりも低い)、ヘッドキャリッジにおいて頸の曲げ過ぎまたは強い負荷が掛かり常に巻き込み過ぎている。

SHW465. トレイルコース。

マネージメント側は、コース設定の際、障害物の難易度を上げすぎて馬を追い込んだり、失格にするのが趣旨ではない事を念頭に置く事。

全コースと障害物は、事故を起こさないよう安全を考慮して作成する事。

難しいコースを設定する場合もルーキー／トレイルレベル1は難易度を下げる。

全障害物の間隔や距離を計測する際は、各障害物の内径を通常の馬の経路を計測地点にする事。ジャッジが歩様を評価出来るよう馬に十分なスペースを与える。[ジョグに最低 30 フィート(9 メートル)、ロープに最低 50 フィート(15 メートル)]。

トレイルのウォームアップについては、障害物を SHW466 のクラス規則に準じ設置する。

SHW465.1 コースが崩れた際は直す。障害物がコンビネーションの一部である場合、出場者が一連の障害物を飛び終えるまで直す事は出来ない。

SHW465.2 ジャッジは必ずコースを歩いて下見する事とし、またコースをどのようにも変更出来る権限と責務がある。ジャッジが危険または通り抜け不可能と判断した障害物は除去・変更が出来る。どの時点においても、トレイルの障害物をジャッジが危険と判断した場合は、修理またはコースから除去する事。もし修理が出来ず、既にコースを完走した馬がいる場合、当該の障害物分のスコアをクラスの全完走者から差し引く。

SHW465.3 最低でも 6 つの障害物を使用し、そのうち 3 つは必須障害物リストから、残り三つはオプション障害物リストから選択する事。

SHW465.6 必須トレイルコース障害物は以下の通り:

SHW466.1 ゲートを開ける、通過する、閉じる。(ゲートの制御不能はペナルティ対象。)馬やライダーに危険のないゲートを使用する。ゲート開口部に金属、プラスチック、木材等の下枠がある場合、出場者は前進で通過する事。

SHW466.2 最低でも 4 本のログまたはポール上を通過する。直線、カーブ、ジグザグ、高さのあるものいずれも可。ログ間の距離を測定し、通過経路を測定ポイントにする。ルーキー/レベル 1 のクラスでの Trot 通過とロープ通過の場合は(高くせず)地上横木のみ。横木に高さを出す場合はカップやくぼみのあるブロックなどの台を設置し横木が転がらない工夫がされている事。高さは地面から横木の上部までを測定する。ウォーク通過、Trot 通過、ロープ通過での横木の間隔・増え幅はそれぞれ以下の通りとする。

SHW466.2.1 ウォーク通過での横木間隔は 20~24 インチ(50~60cm)、地面から 12 インチ(30cm)。高さのあるウォーク通過の場合、間隔は最低 22 インチ(55cm) 離す。

SHW466.2.2 Trot 通過での横木間隔は 3~3.3 フィート(90~100cm)、地面から 8 インチ(20cm)。

SHW466.2.3 ロープ通過での横木間隔は 6~6 1/2 フィート(1.8~2m)またはその増え幅で、地面から 8 インチ(20cm)。

SHW466.3 障害物間のバック通過。バック通過する障害物の間隔は 28 インチ(71cm)以上。高さを出す場合 30 インチ(76cm)の間隔が必要。横木や金属棒などの固体の上を跨いで後退する事を競技者に要求してはならない。

SHW466.3.1 3 つ以上のマーカーの周りまたは間の通過。

SHW466.3.2 L 字、V 字、U 字、直線または同様の形のコースをバックで通過する。

高さを出す場合は 24 インチ(60cm) 以下。

SHW467. オプションのトレイルコース障害物例(下記に限らない):

SHW467.1 使用出来るオプション障害物は以下の様な物も含まれる:

水濠(溝や小さな池)。金属や底が滑りやすいボックス類は不可。水濠/ウォーターボックスを用いる場合も全部門において、一切の水の使用不可(*乾壕のみ)。

SHW467.2 ウォークまたはジョグでの S 字用障害物。ジョグ用の間隔は 5 フィート(1.8m)以上。

SHW467.3 アリーナ内の指定区間で物を運ぶ。(トレイル中で実際に運ぶ事がありそうな物を使用する事)

SHW467.4 木製の橋上を通過。(推奨幅 36 インチ(91cm)以上、長さ 6 フィート(1.8m)以上。橋は頑丈で安全である事、ウォーク通過のみ。

SHW467.5 スリッカーを着る・脱ぐ。

SHW467.6 メールボックスから物を取り出す・戻す。

SHW467.7 サイドパス(高さを出す場合 12 インチ(30cm)まで)。

SHW467.8 4本のログまたは横木を四角に組んだ障害物。四角の辺は6フィート(1.8m)以上。各選手は指定された通りログや横木を越えて四角内に入る事。四肢すべてが四角内に入ったら、指定のターンをしてから出る。

SHW467.9 その他にもトレイル上で遭遇し得る障害物の中で、安全かつ通過が可能であり、ジャッジの承認を得たものであれば使用可。

SHW467.10 二つ以上の障害物のコンビネーション可。

SHW468. トレイルコース使用不可の障害物の例:

タイヤ

動物

皮や毛皮

PVC パイプ

下馬

ジャンプ(障害飛越)

揺れる/動く橋

浮く/動くパーツのあるウォーターボックス

炎、ドライアイス、消火器等。

転がるような設置の方法で高さを出したログまたはポール

グラウンドタイ

レイニング

SHW480. レイニング。レイニングとは、競技アリーナの範囲内で、ランチタイプの馬の運動能力を審査し競うよう考案されたイベントである。レイニング競技においては、いくつかの規定のパターンのうち1つを走行する。各パターンには、小さいスローサークル、大きいファーストサークル、フライングリードチェンジ、飛節でのロールバック、所定の位置で行う一連の360度スピン、および、レイニングホースの特徴でもあるエキサイティングなスライディングストップが含まれる。「レイン」するとは、馬を誘導するだけでなく、すべての動きをコントロールする事である。最高のレインドホースは、ほぼまったく抵抗する事なく誘導を進んで受け、完全に乗り手の手の内にある。少しでも馬が自分から動く事は、コントロールの欠如とみなされる。20種類の規定のレイニングパターンから、クラスの担当ジャッジが選択した一つを、クラス内の選手全員が使用する。各選手は、指定のパターンを個別に行い競う。馬はアリーナ入場時点からジャッジが開始される。パターン開始前の過失についても、減点対象となる。パターンから少しでも逸脱した場合、コントロールの欠如または一時的なコントロール不足とされ、逸脱の度合いにより減点される。スピードをコントロールしながら、様々なマニューバーを実行する際の、滑らかさ、手際の良さ、意欲、迅速さ、力強さは、加点対象となる。

SHW481. スコア。採点は、70を平均的なパフォーマンスとし、0から無限で行う。マニューバーの加点・減点は次の基準で、プラス1 1/2からマイナス1 1/2の範囲で行う。-1 1/2 極めて不良、-1 非常に不良、-1/2 不良、0 可、+1/2 良 +1 非常に良い +1 1/2 極めて良い。マニューバーのスコアは、ペナルティの点数とは別枠で判定される。

SHW481.1 馬は、ディビジョンに関わらず、レイニングとバーサティリティランチホースレイニングに同時エントリーを禁じる。

SHW482. ノースコアとなる行為。

競技アリーナ内での動物虐待および／または、競技に参加する馬に対する大会前または大会中に起きた虐待の証拠。

例:

ビット、ポーサル、カーブチェーンに取り付けたワイヤを含めた、違法馬具の使用。

違法なビット、ポーサル、カーブチェーンの使用。

スナッフルビット使用時のオプションのカーブ ストラップは可だが、カーブチェーンは不可。

鉾付きカラー／タイダウン／ノーズバンドの使用。

鞭、短鞭の使用。

尻尾の血流を妨げたり、動きを変化させるような取り付け具の使用。

ジャッジによる検査のため、適宜下馬および／または馬と馬具を渡す事に協力しない。

選手による無礼行為または違反行為。

両手の使用が許可されるクラスでの、ポーサルに付いたスタンダードなローマル手綱とメカテを除き、環状の手綱の使用は禁止する。

選手のフリーハンドが、レインハンドより後ろにあれば、パターン中いつでも手綱を真っすぐに直してもよいが、ブライドルからレインハンドまでの間で手綱の張りや長さを調節する行為は、両手の使用と見なされ、ペナルティスコア 0 が適用される。加えて、ジャッジがフリーハンドの使用が恐怖を与えたり、褒める行為であると判断した場合、ペナルティ 5 が適用され、マニューバーのスコアの減点対象となる。

SHW482.1 スコア 0 となる行為。

手綱の間で、人差し指以外の指を使う。

両手の使用。(両手を使用するジュニア、スナッフルビット、ハックモアの各クラスを除く)、または、持ち手の変更。

「ウエスタン馬具」の項で概説される以外のローマルの使用。

記載されたパターン通りに完走出来ない場合。

指定外の順序でマニューバーを行う、または、サークル運動の 1/4 以上を順不同で行う。

「マニューバーの追加」は規定されていないが、以下の様な事例が含まれる。

例:

2 ストライド以上バックする。

90 度以上ターンする。

ラン・インのパターンで、一度ロープを始めて、ファーストマーカより前でも完全にストップする。

(例外: ロープ発進後、サークルの最初の 1/4 で完全に停止した場合、マニューバーの追加とは見なされず、不正歩様による 2 ポイントのペナルティが適用される)。

馬具の不具合によるパターン完了の遅れ: 走行中に手綱を落とす(地面に触れる)。

馬がためらうまたは指示を拒否し、走行が遅れる。

逃避または誘導の失敗により、規定のパターンに沿っているか識別不能になる。

サークルの半分以上か、アリーナの長蹄跡の半分を越えてジョグを続ける。

1/4 以上多くターンする。

馬または選手が地面に転ぶ。

ラン・アラウンドが要求されるパターンで、ロールバックの始めまたは終わりにセンターラインを越える。

SHW483. ノースコアと 0 点は、どちらも go round クラス、またはシングル go round クラスでは失格となるが、0 点は multi-go イベントへ進めるのに対し、ノースコアは進めない。

SHW484. 減点行為(5 点):

腹帯より前で拍車を入れる。

手を使って、脅す／褒める。

手でサドルに捕まる。

蹴る、咬む、跳ねる、立つ、叩く等の、明らかな反抗。

SHW485. 減点行為(2点):

指定外の歩様。

スピンまたはロールバック中にフリーズする。

ウォークで入場するパターンで、アリーナ中央に着く前にロープする、および／または、ロープ発進前に停止またはウォークが出来ない。

走って入場するパターンで、ファーストマーカより前でロープを発進出来ない、または、ファーストマーカより前で歩様を変える。

馬が、指定のマーカを完全に通過する前に停止の姿勢を取った場合。

SHW486. サークルまたは8の字運動を不正駆歩(正しい手前以外すべて)で発進または走行した場合、次の通り判定する。

SHW416.1 不正駆歩の度に、ジャッジは1ポイント減点する事。ペナルティは累計され、サークルの四分の一(1/4)走行する度、または馬の手前が合わなくなる度に1点減点される。パターンにリードチェンジが規定されている場合、ジャッジはリードチェンジが1ストライド遅れる度に、1/2ポイント減点する事。

SHW486.2 サークルの始めまたはロールバックの終わりに2ストライド以下のジョグが入った場合、1/2点減点する。2ストライド以上のジョグで、サークルの1/2以下またはアリーナの長蹄跡の1/2以下の場合、2点減点。

SHW486.3 ターンの1/8以下のスピンの過不足は、1/2点減点、1/8~1/4ターンの過不足は1ポイントの減点。スピンのペナルティは、1つのマニューバーにつき、1つの過剰または不足についてのみ、減点対象。

SHW486.4 ストップおよび／またはロールバックに入る時に、アリーナの脇から20フィート(6メートル)以上離れていない場合、1/2ポイントのペナルティが科される。

SHW487. ラン・アラウンドが求められるパターンでは、アリーナの端を周っている際に正しい手前でない場合は、次の通りペナルティが科される:

1ポイント: 曲がり角から、端壁の中間地点まで。

2ポイント: 中間を越えた地点からラン・ダウンの始まりまで。

SHW487.1 ラン・アラウンドが求められるパターンで、アリーナ中央の両端から10フィート以上離れていないと、1/2ポイントのペナルティが科される。(小さいアリーナの場合は、ジャッジの判断によるものとする)

SHW487.2 馬が過剰につまづいて、明らかにマニューバーに注意散漫な場合、マニューバーから1/2ポイント減点される。

SHW488. 馬の過失は、適宜採点の対象とするが、失格の要因とはしない。

ビット装着時に、過剰に口を開く。

ストップの時に、過剰に顎を動かす、口を開けるまたは頭を上げる。

ストップの時、後躯が滑らかさに欠け、真っすぐに向いていない。(例:跳ねあがる、または横向きのストップ)

リードチェンジを拒否する。

扶助を先読みする。

つまづく。

横向きにバックする。

マーカを倒す。

SHW489. 大会で同時に開催してもいい認定レイニングクラスは3つまでとし、馬は同大会で、ジュニアビットとハックモア／スナッフビット レイニングクラスに同時にエントリーしてはならない。

SHW489.1 大会で3つのレイニングクラスを開催する場合は次の通りとする。

SHW4189.1.1 シニアレイニング(ビットあり)

SHW489.1.2 ジュニアレイニング(ビットあり)

SHW489.1.3 ハックモア／スナッフルビットレイニング(5歳以下、ハックモアまたはスナッフルビット使用)

SHW489.2 大会で2つのレイニングクラスを開催する場合は以下の通り。

SHW4189.2.1 シニアレイニング(ビットあり)

SHW489.2.2 ジュニアレイニング(ハックモアまたはスナッフルビット、何れかを選手が選択・使用)

SHW489.3 大会でレイニングクラスが1つしかない場合。レイニングクラスを開催する事。全年齢、6歳以上の馬はビットあり、5歳以下の馬は、ビット、ハックモア、スナッフルビットから、選手が選択、使用の事。

アワード

SHW800. 一般事項。AQHA 大会規定違反により AQHA 公認大会参加を禁止された馬は、その年 AQHA の年末アワード類を受ける資格を失う。

SHW803. オールアラウンド賞ーオープン、アマチュア、セレクトアマチュア、ユースーオープン、アマチュア、セレクトアマチュアクラスおよび／またはユース部門にて、記録上の現オーナーの元で初めてオールアラウンド賞のタイトルを獲得した馬にトロフィーが授与される。同馬が他の部門でもオールアラウンド賞ーオープン、アマチュア、セレクトアマチュア、ユースーを獲得し、大会がトロフィーを授与しない場合、オーナーは類似のトロフィーを購入可能。最初に無料で授与されるトロフィー以降、オープン、アマチュア、セレクトアマチュアおよび／またはユースクラスで其々オールアラウンドまたはリザーブオールアラウンドの賞を授与した馬には、獲得毎に特別にデザインされた認定書を発行授与する。ルーキーとレベル1で獲得したポイントは本アワード対象外。

SHW803.5 オールアラウンドの称号を獲得するには、オープン部門の馬、アマチュア部門のアマチュア、セレクトアマチュアクラスのセレクトアマチュアまたはユース部門のユースが、それぞれの所属部門の3つ以上のカテゴリーで3つ以上の AQHA 公認大会のクラスに参加する必要がある。

カテゴリー I

ホルター／パフォーマンスホルター

カテゴリー II

レイニング

ワーキングカウホース

ウエスタンライディング

ランチトレイル

トレイル

カテゴリー III

チームペニング

ランチソーティング

バレルレーシング

ポールベンディング

ステークレース**

カウボーイマウンテッドシューティング

カテゴリー IV

ジャンピング

ワーキングハンター
 ハンターハック
カテゴリーV
 ウェスタンプレジャー
 2歳ウェスタンプレジャー*
 ハンターアンダーサドル
 プレジャードライビング**
 ランチライディング
 ワーキングウェスタンレイル
カテゴリーVI
 タイダウン・ローピング
 ブレイクアウェイ・ローピング***
 ダリー・チームローピングーヘディング
 ダリー・チームローピングーヒーリング
 カッティング
カテゴリーVII
 ショーマンシップアットホルター***
 ウェスタンホースマンシップ***
 ハントシートエクイテーション***
 エクイテーションオーバーフェンス***
カテゴリーIX
 パーサティリティランチホース***
 *オープン部門のみ
 **オープンおよびアマチュア部門のみ
 ***アマチュアおよびユース部門のみ

SHW813. イヤーエンドハイポイントホース賞ーオープン、アマチュア、ユースー
 本アワードはポイント付与のある AQHA 公認大会のオープン部門、アマチュア部門、ユース部門で、個々の馬がその年、各部門の競技で獲得したポイントに応じ毎年授与される。

SHW814. イヤーエンドハイポイントエキシビター賞ーオープンー
 本アワードは、その年の大会のオープン部門で個人が獲得したポイント数に基づき授与される。

SHW815. イヤーエンドオールアラウンドハイポイントホース賞とリザーブオールアラウンド賞ーオープン、アマチュア、ユースー
 オープン部門、アマチュア部門、ユース部門それぞれにて、AQHA 公認大会のホルター／パフォーマンスホルターおよび、パフォーマンスクラスにて一頭の馬が獲得した得点が一番高い馬に授与される。